

すすき健雄がめざす 元気な東区・夢ある札幌



ながく住み続けている人も新しく住み始めた人も
このまちが安心して、便利で、ゆたかで
楽しいことが沢山あって、このまちこそが
心のふるさとになるような
そういうまちを一緒につくりたい



東15丁目屯田通の舗装整備は
4億9100万円で
新年度中に完成予定



予算特別委員会で
新型コロナ対策予算を審議

札幌市が新型コロナ対策で 222億円の補正予算を編成

札幌市は3月27日、新型コロナウイルス対策として総額222億円の令和2年度補正予算案を編成し、4月2日の臨時市議会に提案する考えを明らかにしました。市民の皆さまの不安にお応えするため、国や道と一丸となって対策に全力をあげます。

●医療供給体制の強化(5億円)

- 電話相談窓口の強化 (4P下参照)
- 感染症病床確保対策
- 学校や福祉施設の感染拡大防止

●経済への影響を緩和するための セーフティーネットの拡充 (217億5800万円)

- 中小企業への融資制度の拡充
- 経済活動回復に向けた取り組み支援
- 離職や休業を余儀なくされた方への支援



3月に中央卸売市場を視察し、非常用電源の整備について関係者と意見交換した結果、9月に1億5000万円の予算確保が決定しました。



9月26日、札幌市調理師団体連合会の主催による地産地消「健康料理フェスティバル」を開催し、会長としてあいさつ。食育、地産地消などを通して地域に貢献していきます。



10月3日、市議会更生保護事業を支援する議員協議会の会長として札幌市に要望書を手渡しました。



10月13、14日にモエレ沼公園で開催されたMOA美術館児童作品展の実行委員長として入賞者を表彰しました。



10月20日、「東区健康スポーツまつり」で、私が会長を務める東区ラジオ体操連盟の皆さんと、NHK講師を迎えてラジオ体操を実施しました。



10月25日、札幌村郷土記念館(北13東16)明治天皇行幸記念碑の除幕式で、大友亀太郎をはじめとする先人への感謝の気持ちを捧げました。



12月14日、新幹線の早期完成、丘珠空港の防災拠点化、教育環境・介護基盤の整備などについて中央要請を行いました。橋本聖子五輪担当相にも東京五輪マラソン・競歩への支援をお願いしました。



11月12日、ふぐの処理技術に関する札幌市調理師団体連合会主催の講習会で、会長として参加者を激励しました。



1月11日、北海道看護連盟の新春の集いに出席し、和やかな雰囲気のもと、意見交換しました。同席した鈴木知事とも懇談しました。

魅力と活力にあふれるまちづくりへ

札幌都心で再開発事業が続々と

2030年度の北海道新幹線の札幌延伸を見据え、道都の玄関口にふさわしい札幌中心部をつくるため、民間投資を活用した再開発事業を積極的に展開していきます。約1500億円(市負担額約130億円)を誘発し、都心周辺のまちづくりで札幌の魅力がさらにアップ!

●東区と隣接する 「北8条西1丁目地区」 令和5年度しゅん工

商業施設等の複合施設を整備し、地下鉄東豊線さっぽろ駅と接続する地下通路を延伸します。



●JR苗穂駅周辺の再開発事業等 「北3条東11丁目周辺地区」令和3年度しゅん工 「苗穂駅北口西地区」令和2年度しゅん工

JR苗穂駅の移転に伴い駅広場、道路等の公共施設の整備に併せて、民間投資を活用した再開発や優良建築物整備を行い、周辺地域の活性化を図ります。



博物館建設に向けて

昨年12月、「(仮称)札幌博物館」の建設に向けた課題を調査するため、新潟県糸魚川市「フォッサマグナミュージアム」、兵庫県三田市「人と自然の博物館」を視察しました。私は20年前から大人も子供も楽しめる体験型の博物館整備を求めてきましたが、現在、札幌市では自然史博物館の整備計画を進め小島公園内を予定。今回の視察では展示方法や情報発信のあり方を学ぶことができました。



元町まちセン前を交流広場へ

数年前から元町連合町内会をはじめとする地域の皆さんから元町まちづくりセンター前を交流広場として開放してほしいとの要望を受け、市と交渉し実現しました。一昨年から地域の皆さんをはじめ子供や学生と一緒に花壇を整備してまいりました。昨年秋には、広場に水道も引くことが叶いました。

今後、東区と連町役員の定期的な話し合いを後押しし、地域の皆さんがさまざまなイベントに活用できる広場に整備して、住民の方々の絆、子供たちの郷土愛をはぐむ場所になってくれることを願ってやみません。



東口改札口・広場整備にも全力!

新幹線新駅「北5東1」再開発で まちのにぎわい・活力を創造

自民党議員会は2月の定例市議会代表質問において、北海道新幹線札幌延伸の際の新駅建設予定地(大東案)の一部である北5東1街区の再開発について市の見解をただし、秋元市長から「北5西1・2地区との連携した開発によりにぎわいや活力を波及させる起点。歩行者動線の連続化、交通機能の分担などの役割を期待している」との答弁を引き出しました。今後、東口改札口・タクシー乗り場などの広場整備についても利用者にとって使いやすいものになるよう求めています。



また、札幌北ICと創成トンネルを結ぶ都心アクセス道路について、全線を地下トンネルとする方針案が有識者会議で承認され、早ければ2021年度に新規事業化される見通しとなっています。苗穂駅周辺の再開発を含め、都心の交通機能は飛躍的に向上し、観光振興や市民の利便性向上への期待が高まっています。

モエレ沼硬式野球場整備 新年度予算に3400万円計上

令和2年度札幌市予算でモエレ沼公園にある軟式野球場を改修し、硬式野球場に整備するための基本設計と地質調査費を合わせて3400万円が計上されました。

【整備内容】

- 球場規模:中堅122m、両翼100m
- 収容人数:座席4000席程度(麻生球場程度)
- ナイター設備(補助照明)を設置
- 総事業費:約23億円(2023年秋しゅん工予定)

丘珠空港の利活用で地域活性化

札幌市は昨年6月、丘珠空港利活用検討委員会を設置し、観光振興や物流効率化はもとより、防災や医療面での利活用、滑走路延伸などの議論が行われています。



丘珠空港は滑走路が短いため、メディカルウィングの冬季運航が難しく、また、新千歳空港が被災した際の代替手段として離発着できるようにすることが求められています。札幌市の経済が将来にわたって発展していくためには、丘珠空港の一層の機能強化を図るとともに、周辺地域の土地利用の規制緩和により地域を活性化しなくてはなりません。

- 丘珠空港関連調整費 1億4900万円